

令和7年度 3学年

各教科の学習内容と

その評価方法

江戸川区立小岩第三中学校

<目次>

学習評価・評定について P 1

国 語 ……P 2～5

社 会 ……P 6～7

数 学 ……P 8～9

理 科 ……P 10～12

英 語 ……P 13

音 楽 ……P 14～18

美 術 ……P 19

保健体育 ……P 20～24

技術家庭科 ……P 25～29

令和7年度 国語科第三学年 年間指導計画

担当 植草 亜由斗

1 評価に関わる教科の基本方針

- 言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を育成することを指導の重点としています。

- 日々継続的に学習する習慣をつけさせるための生徒の取り組み

①授業での取り組み ②家庭学習の取り組み ③定期考査などへの取り組み

これらを連動させ、以下の年間指導計画に基づいて指導していきます。各単元での学習内容を深め、それらを適正に評価できるよう、評価規準を明確にします。

2 評価方法

観点	項目
知識・技能	・漢字テスト ・文法テスト ・毛筆、硬筆書写 ・提出物の内容 ・定期考査 ・古典の暗唱 など
思考・判断・表現	・スピーチ ・討論 ・弁論 ・音読 ・発表に対する評価 ・発言内容 ・作文 ・課題意見文 ・感想文 ・要旨のまとめ ・発表原稿 ・内容理解 ・要点の抜き出し ・文章構造の理解 ・内容を理解した音読 ・定期考査 など
主体的に学習に取り組む態度	・発言内容 ・ノートの内容 ・宿題、提出物の内容 ・授業内の課題やワークシートへの取り組み ・小テスト など

3 年間指導計画

学期	月	単元名	時数	学習活動	評価規準と評価の観点
1 学 期 2 学 期 3 学 期	4	「授業開き」	1	・授業の進め方、見通し ほか。	【知技】表現に必要な語句の量を増やし、語彙を豊かにしている。
		「世界はうつくしいと」	1	・語句の意味や詩の構成に注意しながら、詩を読み深める。	
	5	「握手」	4	・登場人物の生き方や考え方を読み取る。	【思判表】文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。
		「説得力のある構成を考えよう」	5	・聞き手に伝わる論理の展開を考えて、スピーチをする。	
		「風情と心情」	4	・漢詩を読み、情景を読み取る。	【知技】文章の種類とその特徴について理解を深めている。

	6	「作られた物語を超えて」	3	・筆者の主張と論理の展開について評価する。	【知技】具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めることができる。 【思判表】文章の種類を踏まえて、論理の展開のしかたなどを捉えることができる。
		「論理の展開を意識して書こう」	4	・論理の展開を考えて説得力のある小論文を書く。	【思判表】読み手からの助言を踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見出すことができる。
		「助動詞」	4	・助動詞のはたらきを知る。	【知技】助動詞の種類やはたらきを理解し、活用することができる。
	7	「俳句を味わう」	3	・俳句についての鑑賞文を書く。	【態度】我が国の言語文化に関わり思いや考えを伝えようとしている。
		「実用的な文章を読もう/報道文を比較して読もう」	2	・新聞記事を比較し、評価する。	【知技】情報の信頼性の確かめ方を理解し、使うことができる。
	9	「挨拶」	3	・詩に込められたメッセージを読み取り、自分の考えをまとめる。	【思判表】詩を読んで考えを広げ、人間、社会などについて、自分の意見をもつことができる。
		「故郷」	6	・一人称の語り方について理解し、作品の表現の仕方を評価する。	【思判表】文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価している。
		「聞き上手になろう」	1	・質問で話を引き出しながら対談を行う。	【知技】敬語などの相手や場に応じた言葉遣いを理解し、適切に使うことができる。
	10	「複数の意見を読んで、考えよう」	3	・多角的に分析して批評文を書く。	【思判表】表現のしかたを考え、資料を適切に引用し、工夫することができる。
		「考えを効果的に伝えよう」	5	・資料を比較して自分の考えを整理する。	【思判表】集めた材料の客観性や信頼性を確認し、伝えたいことを明確にしている。
		「初恋」	1	・文語定型詩を聞き、気づいた	【知技】必要な語句の量を増やし、

11	12		ことを話し合う。	語感を磨き、語彙を豊かにする。
		「和歌の世界」	3 独特なリズムをもつ和歌の特徴を楽しみながら音読をする。	【知技】歴史的背景に注意して古典を読むことを通して、その世界に親しむことができる。
		「君待つと」	2 和歌の表現について考える。	【知技】長く親しまれている言葉や古典の一説を引用するなどして使うことができる。
		「夏草一『おくのほそ道か』から」	3 古典の文章を読み、批評したり、考えたことなどを伝え合ったりする。	【思判表】文章を批判的に読み、文章に表れているものの見方や考え方について考えることができる。
		「それでも、言葉を」	4 文章を読み、自分の考えをもつ。	【思判表】文章を読んで自分の考えを広げ、人間、社会、自然などについて、意見をもつことができる。
		「話し合いを効果的に進めよう」	2 ・ 集団討論をする。	【思判表】進行のしかたを工夫したり互いの発言をいかしたりすることができる。
		「合意形成に向けて話し合う」	5 ・ ディベートをする。	【思判表】進行のしかたを工夫したり互いの発言をいかしたりすることができる。
		「高瀬舟」	2 ・ 文章を読み、自分の考えをまとめる。	【思判表】文章を読んで自分の考えを広げ、人間、社会、自然などについて、意見をもつことができる。
		「温かいスープ」 「アラスカとの出会い」 「律儀な桜」	6 ・ 随筆を読み、筆者が経験したことについて自分の考えをもつ。	【思判表】文章を読んで自分の考えを広げ、人間、社会、自然などについて、意見をもつことができる。
		「わたしを束ねないで」	1 ・ 詩を読み、批評する。	【知技】詩を読み、語彙を磨き、それを活用することができる。
1		「冊子にまとめて発表会をする」	5 ・ 3年間の学びを総括する。	【思判表】場の状況に応じて言葉を選ぶなど、表現を工夫することができる。

	2	「初日」	2	・詩に書かれた情景や作者の思いを想像する。	【知技】語感を磨き、語彙を豊かにし、それを活用することができる。
	3	「国語の力試し」	3	・身につけた資質・能力を活用して、問題に取り組む。	【知技】これまでに学習した語句を適切に活用することができる。 【思判表】文章の種類を踏まえて、論理や物語の展開のしかたなどを捉えることができる。

令和7年度 第3学年 社会科 評価から評定への総括方法

担当：堀内 健太郎

1. 評価に関わる教科指導の基本方針（評価計画）

- ・学習指導要領に基づいたカリキュラムを作成し、言語活動を積極的に取り入れる。
- ・個人で学習や作業だけでなく、意見の共有などによって、地理的分野と歴史的分野の基礎的な知識を身につけさせる。
- ・定期考査だけでなく、授業での課題へ取り組む姿勢、提出課題の状況および単元のまとめと振り返りを重視し、評価していく。
- ・年間を通して地理的分野と歴史的分野を交代して学習していく。
- ・ICT教材や視聴覚教材を適宜活用していく。
- ・正しい情報を集めて調べる力、調べる力、発表する力をつける。

2. 評価の観点と評価方法

- ① 知識・技能
- ② 思考・判断・表現
- ③ 主体的に学習に取り組む態度

3. 評価から評定への総括方法の一覧表（各観点を総括して数値化し評価します）

	授業での取り組み				家庭学習の取り組み			考査などへの取り組み		
評価方法	ワークシート	作業・発言・協働	ノート・レポート	振り返り	提出課題・宿題	ノート・レポート	ミライシード	定期考査	小テスト	評価のポイント
主体的に学習に取り組む態度	○	○	○	○	○	○	○	○	○	課題意識をもった学習への取り組み 修正する力
思考・判断・表現	○	○	○	○		○	○	○		論理的思考 発言・回答内容 作品の構成 応用力
知識・技能	○	○	○	○	○	○	○	○	○	創造性 適切な資料の活用 概念の理解 基礎的な知識

4. 令和7年度 第3学年 社会科 年間指導計画・評価規準

学期	月	学 習 項 目 ・ 内 容	評 価 規 準	評価の観点
1	4	<u>歴史的分野</u> ○欧米の進出と日本の開国 ・明治維新 ・日清日露戦争と近代産業 ○二度の世界大戦と日本 ・第一次世界大戦と日本 ・世界恐慌と日本の中国侵略 ・第二次世界大戦と日本 <u>公民的分野</u> ○現代社会の私たちの生活 【期末考査】	・欧米諸国の革命や開国から江戸幕府滅亡について多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 ・19世紀の国際関係を年表や世界地図、グラフ等からまとめ説明している。 ・世界恐慌やファシズム、日中戦争について公正に判断しようとする態度を身につけている。 ・戦争の悲惨さについて聞こうとする態度や平和を希求する態度を持っている。 ・グローバル化、情報化、少子高齢化の資料を適切に読み取れることができる。	社会的事象への主体的に学習に取り組む態度 社会的思考・判断・表現 社会的事象の知識・技能
	5			
	6			
	7			
2	9	<u>歴史的分野</u> ○現代の日本と世界 ・戦後日本の発展と国際社会 ・新たな時代の日本と世界 【中間考査】 <u>公民的分野</u> ○個人の尊重と日本国憲法 ・人権と日本国憲法 ・人権と共生社会 ・これからの人権保障 ○私たちの暮らしと経済 ・消費生活と経済 ・生産と労働 ・価格の働きと金融 ・政府の役割と国民福祉 ・これからの経済と社会 【期末考査】	・日本国憲法の制定から戦後民主化の流れについて年表や資料を活用できている。 ・人権の歴史の中での日本国憲法の基本原理を理解することができる。 ・新しい人権について意欲を持って意見交換をして、学ぶ姿勢がみられる。 ・選挙制度や世論の動きから民主政治に参加しようとする自覚が生まれている。 ・国会、内閣、裁判所の働きを憲法や資料から読み取り、理解することができる。 ・身の回りの具体的な事柄から地方自治の意義について考察することができる。 ・身近な事例から経済活動に興味を持ち、賢い消費者としての自覚が芽生え始めている。 ・企業の役割や労働の意義について具体的な事例から考察することができる。 ・需要と供給、銀行の役割についてグラフや図表から理解できる。	社会的事象への主体的に学習に取り組む態度 社会的思考・判断・表現 社会的事象の知識・技能
	10			
	11			
	12			
3	1	○現代の民主政治と社会 ・現代の民主政治 ・国の政治のしくみ ・地方自治と私たち ○地球社会と私たち ・国際社会のしくみ ・様々な国際問題 ・これからの地球社会と日本 【学年末考査】	・様々な国際紛争や国際連合の動きなどから世界の平和実現に向けて意識が高まっている。 ・日本の諸地域の地域的特色に対する関心を持ち、積極的に追求し、とらえようとする。	社会的事象への主体的に学習に取り組む態度 社会的思考・判断・表現 社会的事象の知識・技能
	2			
	3			

第3学年 数学 年間指導計画および評価規準

(時)	章 (時)	節	小節	配 当 時間	学習内容	評価規準
4月	10	1 多項式の計算	① 単項式と多項式の乗除	3	・多項式と単項式の乗除	主・多項式の計算を解こうとする 思・多項式の性質について考え、証明問題を解くことができる
			② 多項式の乗法	2	・多項式と多項式の乗法	
			② 乗法公式	4	・多項式と多項式の積を展開するための公式 ・いろいろな式を展開する	
			基本の問題	1	・本節のまとめと確かめの問題	
5月	22	2 因数分解	① 因数分解	2	・因数、因数分解の意味 ・共通因数をくり出して式を因数分解する	知・多項式の計算をすることができる 知・多項式についての語句や文字を使う意味を理解する
			② 公式を利用する因数分解	4	・乗法公式を逆に使って式を因数分解する ・共通因数をくり出してから公式を利用し、式を因数分解する	
			基本の問題	1	・本節のまとめと確かめの問題	
			③ 式の計算の利用	4	・式の展開や因数分解を数計算に利用する ・式の計算を利用して、数の性質を証明する	
18	22	章の問題		1	・章の確かめの問題	主・平方根の計算をしようとする 思・未知の量を、平方根を利用して式に立てることができる。 知・平方根を含む式の計算をすることができる 知・平方根を利用する意味を理解する。
		1 平方根	正方形の一辺	1	[導入] 正方形の一辺の長さを考える	
			① 平方根	3	・根号、平方根の意味 ・数の平方根を求める ・ $\sqrt{\quad}$ の意味とその使い方 ・平方根の大小 ・無理数、有理数の意味	
			② 素因数分解	2	・因数、素数、素因数、素因数分解の意味 ・数の素因数分解をする	
6月	19	2 根号をふくむ式の計算	基本の問題	1	・本節のまとめと確かめの問題	主・平方根の計算をしようとする 思・未知の量を、平方根を利用して式に立てることができる。 知・平方根を含む式の計算をすることができる 知・平方根を利用する意味を理解する。
			① 根号をふくむ式の乗除	4	・根号をふくむ式の乗除の計算 ・平方因数を根号の外にだす ・分母の有理化の意味とその計算をする	
			② 根号をふくむ式の加減	2	・根号をふくむ式の加法と減法の計算をする ・分母の有理化の計算をする	
			③ 根号をふくむ式のいろいろな計算	2	・分配法則や乗法公式と根号をふくむ計算 ・式に根号をふくむ式の値を求める	
7月	7	3 平方根の利用	④ 平方根の利用	2	・身のまわりで、平方根が利用されている場面について考える	主・2次方程式を解こうとする。 思・未知の量を、文字を利用して式に立てることができる。 知・2次方程式を解くことができる 知・2次方程式の意味を理解する
			基本の問題	1	・本節のまとめと確かめの問題	
			章の問題		1	・章の確かめの問題
			章の問題		1	・章の確かめの問題
9月	12	1 2次方程式とその解き方	縦と横の長さは？	1	[導入] 面積の決まった長方形の縦と横の長さを方程式をつくり考える	主・2次方程式を解こうとする。 思・未知の量を、文字を利用して式に立てることができる。 知・2次方程式を解くことができる 知・2次方程式の意味を理解する
			① 2次方程式	1	・2次方程式の意味 ・解の意味 ・解くことの意味 ・値を代入して解を求める	
			② 平方根の考えを使った解き方	3	・平方根の考え方を利用して2次方程式を解く解き方	
			③ 2次方程式の解の公式	2	・2次方程式の解の公式を導き、その公式を利用して2次方程式を解く	
10月	12	2 2次方程式の利用	④ 因数分解による解き方	3	・因数分解を利用して2次方程式を解く	主・自然現象や社会現象などに潜む関係や法則に興味を持つ。 思・ $y = ax^2$ の関係を見出し考察することができる。 知・ $y = ax^2$ の関係を表現することができる。 知・ $y = ax^2$ について理解することができる。
			⑤ いろいろな2次方程式	3	・2次方程式を使ったいろいろな問題の解決	
			基本の問題	1	・本節のまとめと確かめの問題	
			① 2次方程式の利用	3	・数量の間の関係を2次方程式で表すときの手順 ・具体的な問題を、2次方程式を利用して解決する ・方程式を使って文章問題を解くときには、解が答となるか吟味をする	
10月	12	3 関数 $y = ax^2$ の性質と調べ方	基本の問題	1	・本節のまとめと確かめの問題	主・自然現象や社会現象などに潜む関係や法則に興味を持つ。 思・ $y = ax^2$ の関係を見出し考察することができる。 知・ $y = ax^2$ の関係を表現することができる。 知・ $y = ax^2$ について理解することができる。
			① 関数 $y = ax^2$	2	[導入] 身近にある2乗に比例する関数 ・2乗に比例する意味 ・事象のなかから2乗に比例する量を見出す	
			② $y = ax^2$ のグラフ	2	・関数 $y = x^2$ のグラフの特徴 ・放物線 ・関数 $y = ax^2$ のグラフの特徴	
			③ 関数 $y = ax^2$ の値の変化	2	・関数 $y = ax^2$ の変化の割合 ・変域と関数 $y = ax^2$ のグラフ ・1次関数と2乗に比例する関数の比較	
10月	12	4 関数 $y = ax^2$ のグラフ	④ 関数 $y = ax^2$ の利用	1	・関数 $y = ax^2$ を利用して、具体的な問題を解決すること	主・自然現象や社会現象などに潜む関係や法則に興味を持つ。 思・ $y = ax^2$ の関係を見出し考察することができる。 知・ $y = ax^2$ の関係を表現することができる。 知・ $y = ax^2$ について理解することができる。
			基本の問題	1	・本節のまとめと確かめの問題	
			① いろいろな関数	3	・いろいろな関数について考察する	
			章の問題		1	・章の確かめの問題

		どのように拡大されているかな	1	[導入] 拡大してできる図形の特徴を考える
--	--	----------------	---	-----------------------

10月	5章	1 相似な図形	① 相似な図形	3	・相似の意味 ・相似を、記号を使って表す ・相似の性質 ・相似の中心と相似の位置 ・相似比の意味やそれを求める ・相似を利用して長さをもとめる	主・図形の性質について、根拠となる事柄をもとに筋道を立てて説明しようとする
			② 三角形の相似条件	3	・三角形の相似条件 ・図形の証明	
			③ 相似の利用	2	・相似を利用して距離や高さを求める	
			基本の問題	1	・本節のまとめと確かめの問題	
19	相似な図形	2 平行線と比	① 三角形と比	4	・三角形と比の性質から辺の長さを求める ・中点連結定理	思・図形の性質について、演繹的に考えることができる 知・図形の性質の公式を利用して、計算をすることができる 知・図形の性質を理解することができる
			② 平行線と比	3	・平行線と比の性質 ・平行線の比の性質の利用	
			基本の問題	1	・本節のまとめと確かめの問題	
11月		3 相似な図形の面積と体積	① 相似な図形の相似比と面積比	3	・周や面積を、相似比を利用して求める	
			② 相似な立体の表面積や体積の比	3	・立体の相似 ・相似比、面積の比、体積比 ・表面積や体積を、相似比を利用して求める ・立体の相似比を利用して考える	
			基本の問題	1	・本節のまとめと確かめの問題	
18	6章	1 円周角の定理	どこから撮ればよい？	1	・円周角と中心角の関係を見出す	主・円の性質を調べようとする。 思・円の性質を証明することができる 知・円の性質を利用して、計算をすることができる 知・円の性質を理解することができる
			① 円周角の定理	3	・円周角の定理	
			② 円周角の定理の逆	1	・円周角の定理の逆 ・円周角の定理の逆の利用	
			・基本の問題	1	・本節のまとめと確かめの問題	
12月	円	2 円周角の定理の利用	① 円周角の定理の利用	3	・接線の長さの定理 ・円周角の定理の定理を利用して相似の証明をする	
			基本の問題	1	・本節のまとめと確かめの問題	
13	7章	1 三平方の定理	正方形の面積を調べよう	1	[導入] 直角をはさむ2辺の長さと、斜辺を1辺とする正方形	主・直角三角形の性質を調べようとする 思・三平方の定理を利用して、辺の長さなどを求めることができる 知・三平方の定理を利用して、計算をすることができる。 知・三平方の定理について理解することができる
			① 三平方の定理	3	・三平方の定理 ・三平方の定理の利用	
			② 三平方の定理の逆	2	・三平方の定理の逆 ・三平方の定理の逆の利用	
			基本の問題	2	・本節のまとめと確かめの問題	
1月	三平方の定理	2 三平方の定理の利用	① 三平方の定理の利用	6	・長方形の対角線、三角形の高さなどを求める ・2点間の距離を求める ・円の中心と弦との距離を求める ・円錐や角錐の高さを求める	
			② いろいろな問題	2	・具体的な問題を解決する	
			基本の問題	1	・本節のまとめと確かめの問題	
13	8章 傾向を集団推測しよう	1 母集団と標本	① 標本調査	2	[導入] 新聞記事を通して、標本調査の方法について考える ・標本調査、全数調査、母集団、標本の意味 ・無作為に抽出することの意味 ・模擬的に行う標本調査の実験方法に知る	主・標本調査を考えようとする 思・標本調査を考えることができる 知・自然現象や社会現象に多くある不確定な事象を数値で表すことができる。 知・標本調査の意味を知ることができる
			③ 標本調査の利用	1	・標本調査の例から母集団の傾向をよみとる	
			基本の問題	1	・本節のまとめと確かめの問題	
2,3月		(問題演習等)		16		

合計 145

1. 評価に関わる教科指導の基本方針および評価計画

- 実験・観察を行い、探究的に授業を進めることにより興味や関心を高める。
- 興味や関心を高めるために、ICT 機器を活用する。
- 基礎・基本の知識を確実に身に付けさせる。
- 応用問題や学力検査問題に対応できるように発展的な指導を取り入れる。
- 授業態度（実験・観察態度も含む）や提出物を重視し、意欲を積極的に評価していく。
- 言語活動の充実を目指し、話し合い活動やレポートを進んで取り入れる。
- 日常生活で起こる事物・現象を科学的に考えられるような指導を心がける。

2. 評価の3観点と評価方法

◎ 評価の3観点

①知識・技能

資源の事物。現象について、基本的な概念や原理・法則を理解しているとともに科学的に探究するために必要な観察・実験などに関する基礎操作や記録などの基本的な技能を身につけている。

②思考・判断・表現

自然の事物・現象の中に問題を見だし、見通しをもって観察・実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。

③主体的に学習に取り組む態度

事前の事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。知識や技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身につけたりすることに向けた粘り強い取り組みを行っている。その取り組みの中で、自ら学習を調整しようとする。

◎ 評価から評定への総括方法 （評定への3観点の割合は学習内容によって異なります）

評価方法	ノート プリント	授業の 様子	実験・観察 レポート	定期テスト	小テスト	ワーク プリント 課題
① 知識・技能	○		◎	◎	◎	
②思考・判断・表現	○	○	◎	◎	○	
③主体的に学習に 取り組む態度	◎	○	◎	○	○	◎

【観点別評価】

① 知識・理解 ② 思考・判断・表現 ③ 主体的に学習に取り組む態度

【観点別評価】

①知識・技能 ②思考・判断・表現 ③主体的に学習に取り組む態度

学期	月	学期項目・内容	評価基準
1	4	《2年の復習》 《4. 電気の世界》 3章 電流と磁界	《生命の連続性》 ・生物の成長と増え方に関する事物・現象の特徴に着目しながら、生物の成長と増え方について理解するとともに、それらの観察・実験などに関する技能を身につける。 (①) ・生物の成長と増え方について見通しをもって解決する方法を立案して観察・実験などを行い、その結果を分析して解釈し、生物の成長と増え方についての特徴や規則性を見いだして表現する。(②) ・生物の成長と増え方に関する事物・現象に進んでかかわり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養うとともに、自然を総合的に見ることができるようにする。(③)
	5	《1. 化学変化とイオン》 1章 水溶液とイオン	
	6	2章 酸、アルカリとイオン 3章 化学変化の電池	
2	7	《2. 生命の連続性》 1章 生物の成長と生殖 2章 遺伝の規則性と遺伝子	《化学変化とイオン》 ・水溶液に電圧をかけ電流を流す実験を通して、水溶液には電流が流れるものと流れないものがあることを見いだして理解する。また、電解質水溶液に電圧をかけ電流を流す実験を通して、電極に物質が生成することがらイオンの存在を知るとともに、イオンの生成が原子の成り立ちに関係することを知る。合わせてそれらの観察・実験などの関する技能を身につける。(①) ・化学変化について、見通しをもって観察・実験などを行い、イオンと関連づけてその結果を分析して解釈し、化学変化における規則性や関係性を見いだして表現する。また、探究の家庭を振り返る。(②) ・水溶液とイオンに関する事物・現象に進んでかかわり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、自然を総合的に見ることができるようにする。(③)
	9	《3. 運動とエネルギー》 1章 物体の運動 2章 力のはたらき方 3章 エネルギーと仕事	
	10	《3章 生物の多様性と進化》	
	11	《5. 地球と私たちの未来のため》	
	12	《4. 地球と宇宙》	

1	1章 地球の運動と天体の動き	に》	《運動とエネルギー》
2	2章 月と金星の見え方	1章 自然の中の生物	・物体に力がはたらく運動および力がはたらかない運動についての観察・実験を行い、物体の運動には速さと向きがあること、力がはたらく運動では運動の向きや時間の経過にともなって物体の速さが変わること、および力がはたらかない運動では物体は等速直線運動することを見いだして理解するとともに、それらの実験・観察の技能を身につける。(①)
3	3章 宇宙の広がり	2章 自然環境の調査と保全	・物体の運動について、見通しをもって観察・実験などを行い、その結果を分析して解釈し、物体の運動の規則性や関係性を見いだして表現する。また、探究の過程を振り返る。(②)
	《5. 地球と私たちの未来のために》		・物体の運動に関する事物・現象に進んでかかわり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、自然を総合的に見るができるようにする。(③)
	3章 科学技術と人間		
	終章 持続可能な社会をつくるため		
	《三年間の総復習》		《地球と宇宙》
			・身近な天体とその運動に関する特徴に着目しながら、日周運動と自転、年周運動と公転についての基本的な概念や原理・法則などを理解するとともに、それらの観察・実験の技能を身につける。(①)
			・天体の動きと地球の自転・公転について、天体の観察・実験などを行い、その結果や資料を分析して解釈し、天体の動きと地球の自転・公転についての特徴や規則性を見いだして表現する。また、探究の過程を振り返る。(②)
			・天体の動きと地球の自転・公転に関する事物・現象に進んでかかわり、科学的に探究しようとする態度と生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養うとともに、自然を総合的に見るができるようにする。(③)
			《地球と私たちの未来のために》
			・日常生活や社会と関連づけながら、自然界のつり合いについて理解するとともに、それらの観察・実験などに関する技能を身につける。(①)
			・身近な自然環境を調べる観察・実験などを行い、自然環境の保全のあり方について、科学的に考察して判断する。(②)
			・生物と環境に関する事物・現象に進んでかかわり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養うとともに、自然を総合的に見るができるようにする。(③)

1. 評価にかかわる教科指導の基本方針
 中学校3年間の学習を通して、読む・聴く・話す（やりとり、発表）・書くの4技能を実践的に運用する力をつけることを指導の重点としています。

◎継続的に勉強する習慣をつけさせるための生徒の取り組み（評価計画）

- ①授業での取り組み
 - ②宿題・提出物など家庭学習の取り組み
 - ③小テスト・定期テストなどの取り組み
- これらを各観点に照らして評価します。

2. 評価の観点と評価方法

◎評価の3観点

- ①主体的に学習に取り組む態度
- ②思考・判断・表現
- ③知識・技能

◎評価から評定への総括方法一覧表（○がついている方法で評価します）

	授業での取り組み					テストへの 取り組み					提出物など家庭学習への取り組み		
評価方法	発言・発表	コミュニケーションをとる態度	聴く姿勢	活動	教科書の読み	スピーキングテスト	発表	定期考査	小テスト	リスニング	プリント	ワーク	ノート
主体的に学習に取り組む態度	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
思考・判断・表現	○			○	○	○	○	○	○	○	○		
知識・技能	○				○	○	○	○	○	○			

【具体的な指導のポイント】

- 【授業への取り組み】
- ・積極的に発言したり発表をしたりしているか。
 - ・教科書を大きな声で正しく読めるか。
 - ・ノートをきちんととったり、熱心に話を聴いたりしているか。
 - ・ペアワークやグループワークで周りと協力して活動しているか。
 - ・意欲的に言語活動やワークシートの取り組みに参加しているか。
- 【提出物への取り組み】
- ・課題の期限を守り提出しているか。
 - ・自主的に学習しているか。
- 【テストなどへの取り組み】
- ・語彙、文法等を身につけているか。
 - ・長文を読み、内容を理解しているか。
 - ・英文を聞いて内容を理解しているか。
 - ・指示に従い英文を書くことができるか。
 - ・小テストや発表に積極的に取り組んでいるか。

年間指導計画表および評価規準

〈3年〉

学期・月		題材内容	評価規準（文法・文型事項・基本表現）
1 学 期	4	Japanese Bentos Are Interesting!	ask ～ to do や It is ～ (for + 人) to do、現在完了形（経験）の意味や働きを理解し、その表現を使うことができる。（知・技・思・判・表・主）
	5	Good Night. Sleep Tight.	現在完了形や現在完了進行形の意味や働きを理解している。（思・判・表・主）睡眠が生活に与える影響について会話文やネットの記事を読んで、概要や要点を捉え伝え合うことができる。（知・技）
	6	Hot Sport Today	〈主語＋動詞＋目的語＋名詞〉などの意味や働きを理解し使うことができる。（知・技） バスケットボールの成り立ちや日本での人気について、写真や絵、簡単な語句や文などを用いて相手に示しながら概要を捉え、伝え合うことができる。（思・判・表・主）
	7	The Meaning of Life Sign Languages, Not Just Gestures!	藤慶輔さんの活動について理解するために、彼の取り組みについて書かれた文章を読んで、概要や要点を捉えている。動物を取り巻く環境や動物の扱いについて自分の考えを伝えるために、簡単な語句や文などを用いて書いている。（思・判・表・主） 現在分詞の後置修飾などの意味や働きを理解し使うことができる。（知・技）ASL（アメリカ手話）についてほかの人に伝えるために、簡単な語句や文などを用いて相手に示しながら概要を捉え、伝え合うことができる。（思・判・表・主）
2 学 期	9	The Story of Chocolate	関係代名詞主格（who）などの意味や働きを理解し使うことができる。（知・技）
	10		チョコレートの歴史やフェアトレードについてほかの人に伝えるために、簡単な語句や文などを用いて相手に示しながら概要を捉え、伝え合うことができる。（思・判・表・主）
	11	The Great Pacific Garbage Patch	関係代名詞目的格（which）などの意味や働きを理解し使うことができる。（知・技） 海のプラスチックごみの問題についてほかの人に伝えるために、まとまりのある英文を読んで相手に示しながら概要を捉え、伝え合うことができる。（思・判・表・主）
	12	Robots Can Improve Quality of Life	仮定法過去（be 動詞など）などの意味や働きを理解し使うことができる。（知・技） 仮定法過去の意味や働きの理解をもとに、現在の事実とは違うことを仮定して伝え合う技能を身に付けている。（思・判・表・主）
3 学 期	1	Malala's Voice for the Future	マララさんの思いについて理解するために、彼女の物語を読んで、概要や要点を捉えている。（思・判・表・主）
	2	Special Project	自分たちの中学校の思い出を残すために、中学校生活で経験したことや、それに対する自分の思いなどについて、簡単な語句や文を用いて発表したり書いたりしている。（思・判・表・主）
	3	受験対策・3年間のまとめ	

令和7年度 音楽科 評価方法（第3学年）

1. 教科の方針

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽を愛好する心情を育てるとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽活動の基礎的な能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深め、豊かな情操を養う。

授業の発表の場として、合唱コンクールで音楽表現をする。合唱曲の歌詞の内容や曲想を感じ取り、その楽曲ふさわしい表現を工夫することで言語活動の充実を深める。

2. 評価計画

- ・主体的、対話的で深い学びの視点から点数だけでない部分の評価を重視し、表現する楽しさや喜びに結びつける。
- ・授業態度（表現する意欲）やノート（プリント）などの提出物を重視し評価していく。
- ・歌唱や実技テストを定期的に行い、定期考査と同等に評価する。
- ・年間を通して、歌唱、器楽、鑑賞、創作など、幅広い音楽活動を通して評価する。

3. 評価の観点と評価方法

- ①知識・技能（知識・技能は分けて審査）
- ②思考・判断・表現
- ③主体的に学習に取り組む態度

・評価から評定への総括方法

評価項目 評価の観点	定期考査	実技テスト 【項目は下記】	授業の様子	ワーク シート
① 知識・技能	○	○		○
②思考・判断・表現	○	○	○	○
③主体的に学習に 取り組む態度		○	○	○

*実技テスト評価項目

- ①正しい発声，奏法で演奏できているか（技）
- ② 音程，リズムが正しくとれているか（技）
- ③ 曲にふさわしい表現や響きを追及して表現豊かに演奏できているか（思・判）
- ④真剣な態度でテストに臨んでいるか（態）

・令和7年度 3学年 年間指導計画

3 年 月	月	単 元	学習活動	評価規準
1 学 期	4	行事への取り組み① 【歌唱】	歌唱に積極的に取り組む姿勢をつくる。 「校歌」「時をこえて」等	【態】（共通）意欲的に取り組んでいるか。 【思】曲想を味わいながら気持ちよく表現して歌っているか。
	5	日本の音楽に親しむ 【歌唱】	旋律の美しさを味わう。 「花」「荒城の月」	【知・思】曲の形式を理解し、日本語の響を生かして歌っているか
		アルトリコーダーの楽しみ【器楽】	二重奏の楽曲に挑戦しよう 「空も飛べるはず」	【思・技】二人で息を合わせ、演奏効果を考えることができたか。
	6	混声合唱に親しむ 【歌唱】	歌詞の内容や曲想、全体の響きなど感じとって曲にふさわしい表現を工夫して歌う。「手紙」	【思・技】表現記号に留意し、曲にふさわしい表現ができるか。
	7	合唱コンクールの選曲 舞台芸術の良さを感じ取る 【鑑賞】	クラスの雰囲気を考えて選曲する。 舞台装置や衣装、演者の動きと音楽とのかかわりを考えながら鑑賞する。 「様々な舞台芸術」 「アイーダ」	【知・思】曲の内容や強弱などを考え鑑賞、選択できたか。 【知・思】時代背景を理解し、舞台装置や衣装、舞踊が音楽に与える効果を感じ取り、その良さを味わうことができたか。

学 期	9			【態】（共通）意欲的に取り組んでいるか。
	2 1 0	行事への取り組み② 【歌唱】	歌詞の内容や曲想、全体の響きなど感じ取り、曲にふさわしい表現を工夫して歌う。（合唱コンクール）	【知・技】表現記号や歌詞の内容に留意した歌い方を工夫しているか。
	1 1	短いメロディーを創作してアルトリコーダーで表現する。 【器楽】 【創作】	リズムの読み方の演習と短い旋律（CMソング）の創作（グループ学習）	【知・思】美しい音での演奏と歌詞にふさわしいメロディを創作することができるか。 【技】丁寧な読譜と正しい楽器奏法ができているか 【技】正確なリズムで演奏しているか。
	1 2	日本の舞台芸術をまなぶ 【鑑賞】	歌舞伎の総合芸術としての豊かな表現を鑑賞する。「勸進帳」	【知・思】作品を多角的なアプローチで理解を深め、良さを感じ取ることができたか。
学 期	3 1	オーケストラの様々な表現にふれる 【鑑賞】	組曲「展覧会の絵」「フィンランディア」から豊かな表現を学ぶ	【態】（共通）意欲的に取り組んでいるか。 【知・思】楽曲やその背景に興味を持ち、理解し味わって鑑賞できたか。
	2 3	行事への取り組み③ 【歌唱】	曲想を感じ取り、声部の役割や全体の響きを感じ取って、曲にふさわしい表現を工夫しながら演奏する。「旅立ちの日に」「いまここ」	【思・技】音楽を形作っている要素を考えて美しい演奏につなげているか。

令和7年度 美術科 評価から評定への総括方法

美術科 教科目標

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して美術の創造活動の喜びを味わい美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を豊かにし、美術の基礎的な能力を伸ばし、美術文化についての理解を深め、豊かな情操を養う。

感じ取ったことや考えたことなどを基に表現する活動と伝える、使うなどの目的や機能を考えた表現する機能を経験させる。

評価の観点およびその趣旨

	全学年
知識・技能	対象や事象を捉える造形的な視点について理解している。 表現方法を創意工夫し、創造的に表している。制作における材料や用具の生かし方や見通しを持って表そうとしている。
思考・ 判断・表現	造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考えるとともに、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。
主体的に学習に取り組む態度	美術の創造活動の喜びを味わい、表現や鑑賞の能力を身に付けるために、主体的に学習に取り組もうとする。制作の為に事前に制作資料などの準備をしている。

評価から評定への総括方法 (全学年共通)

評価項目 観点	授業態度 (振り返りカード、 聴く態度、質疑等)	アイデアスケッチ (制作過程の 工夫・試行)	ワークシート レポート	作品	定期 テスト
知識・技能		○	○	○	○
思考・ 判断・表現	○	○	○	○	○
主体的に学習に取り組む態度	○	○	○	○	

令和7年度 美術 3年 年間指導計画および評価基準

【知】知識・技能 【思】思考・判断・表現 【態】主体的な学習態度

	月	単元	学習活動	評価規準	
1 学 期	4	・ 浮世絵とジャポニズム	・ 浮世絵の歴史について調べる ・ 浮世絵の特徴、作品、作者を学ぶ	【知】 浮世絵の歴史や作品の知識があり、作品を見て自身の考えを深めようとしている 浮世絵の制作過程を理解している 【思】 感性や創造性を働かせて造形的な美しさ、作者の心情や意図を感じることができる。 作品を深く味わうことができる 【態】 浮世絵の表現や技法に関心を持ち、主体的に見方や理解を深めようとしている	
	5				
	6	・ 水墨画	・ 水墨画制作		
	7				
8					
2 学 期	9	・ 奈良と京都の芸術	・ 奈良、京都の伝統作品鑑賞 ・ 鑑賞、技法練習	【知】 材料や用具の特性を生かし、表したいイメージを持ちながら自分の表現意図に合う表現方法を工夫し、表現の工夫を練っている 【思】 形や色彩の効果を生かして単純化や省略、強調、材料の組み合わせなどを考え、創造的な構成を工夫し、表現の工夫を練っている。 【態】 墨の特質を生かした表現に関心を持ち、表現の工夫などを感じ取ったりしようとしている	
	10				・ 卒業記念品づくり ステンドアート（切り絵）
	11				
	12	・ パッケージデザイン	・ 訴求力のあるデザインを考え、グループで話し合っていく。		
3 学 期	1	・ 仏像の世界	・ 仏像の比較鑑賞 ・ 文化保護について	【知】 表現したいことのイメージを持ちながら、制作の順序などを考え創意工夫して表現している 【思】 購入する時を考え、パッケージの美しさや楽しさを感じられる構想を練っている アイデアスケッチで文字のデザインや配色など、中身の食べ物にあったアイデアスケッチを制作している 【態】 地域のお土産や特産品などのデザインを分析し特徴や工夫点をみつける	
	2	・ オリジナルキャラクターデザイン	・ ゆるキャラやキャラクターデザインについて様々なキャラクターを鑑賞する ・ 江戸川区をテーマにキャラクターをデザイン案をつくる		【学】 暮らしの中にある情報を収集し、キャラクターに特徴を伝えようとしている 【思】 キャラクターの性格や個性を、イメージを通じ効果的に伝えようとしている 【知】 他者が伝えたい内容を感じ取っている
	3				

令和7年度 保健体育科 3学年 評価方法

教科担当：後藤星哉

1. 評価に関わる教科指導の基本方針（評価計画）

- ・学習指導要領に基づいたカリキュラムを作成し、言語活動を積極的に取り入れる。
- ・各分野、種目の基礎的な知識を身につけさせる。
- ・授業態度や授業プリントなどの提出物を重視し、評価していく。また小テストなどを通じて、基礎的な知識を定着させる。
- ・年間を通して体育分野と保健分野を学習していく。
- ・ICTを多用し、視聴覚教材をできるだけ活用していく。
- ・主体的な発表授業を通じて、調べる力、発表する力をつける。

2. 評価の観点と評価方法

- ① 知識及び技能
- ② 思考・判断・表現
- ③ 主体的に学習に取り組む態度

3. 評価から評定への総括方法の一覧表（各観点を総括して数値化し評価します）

評価方法	授業での 取り組み	見学・欠席等、態度、言語活動、ワークシート、安全に留意する姿勢
	実技への 取り組み	運動技能の向上、課題の達成、協働活動
	テストなど への取り組み	ルールの理解、運動特性の理解、教科書や実技所の理解、生活・健康・安全への理解
評価の ポイント	(ア) 知識及び 技能	①ルールや技能のポイントを理解している ②各種目の技能を習得している。 ③生活、健康、安全について理解している
	(イ) 思考・ 判断・表現	①課題を発見し、合理的な解決に向けて取り組みを工夫している。 ②自分の考えを他者に伝えることができる。 ③仲間と教え合い、チームやペアとのかかわり方を見つけている。 ④安全上の留意点を他の学習場面に当てはめている。
	(ウ) 主体的に学 習に取り組 む態度	①欠席、見学、忘れ物が無い。 ②正しい服装をしている。 ③運動や健康に対する興味関心が高く、積極的に取り組んでいる。 ④公正な態度で授業に取り組んでいる。 ⑤自身の学習を深めようとしている。

4. 年間指導計画

学期	月	体育	保健	補助運動
1学期	4月	集団行動 体づくり運動	健康と環境	ランニングドリル ジャンプトレーニング
	5月	運動会練習 短距離走・リレー		
	6月	短距離走・リレー 新体力テスト		腕立て伏せ ストレッチ
	7月	新体力テスト 水泳		
2学期	9月	水泳	健康な生活と疾病の予防	水中トレーニング ストレッチ
	10月	バレーボール		馬跳び 体幹トレーニング
	11月	バレーボール ハードル走		ボールを使ったトレーニング 体幹トレーニング
	12月	ハードル走 長距離走		ランニングドリル 馬跳び
3学期	1月	長距離走 サッカー 体育理論 (文化としてのスポーツの意義)		コーディネーショントレーニング
	2月	サッカー 体育理論 (文化としてのスポーツの意義)		
	3月	サッカー		

5. 令和7年度 第3学年 保健体育科 評価規準

体づくり運動

○知識

- ・運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などについて理解している。

○思考・判断・表現

- ・自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。

○主体的に学習に取り組む態度

- ・体づくり運動に自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとする、話し合いに貢献しようとするなどをして、健康・安全を確保したりしている。

陸上競技

○知識・技能

- ・技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などについて理解している。
- ・短距離走・リレーでは、中間走へのつなぎを滑らかにして速く走ることやバトンの受渡しで次走者のスピードを十分高めることができる。
- ・長距離走では、自己に適したペースを維持して走ることができる。
- ・ハードル走では、スピードを維持した走りからハードルを低く越すことができる。

○思考・判断・表現

- ・動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。

○主体的に学習に取り組む態度

- ・陸上競技に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどをして、健康・安全を確保したりしている。

水泳

○知識・技能

- ・技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などについて理解している。

○技能

- ・クロールでは、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりすることができる。
- ・平泳ぎでは、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりすることができる。
- ・背泳ぎでは、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで泳ぐことができる。
- ・バタフライでは、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで泳ぐことができる。
- ・複数の泳法で泳ぐこと、又はリレーをすることができる。

○思考・判断・表現

- ・泳法などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。

○主体的に学習に取り組む態度

- ・水泳に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようということ、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようということなどをしたり、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保したりしている。

球技

○知識・技能

- ・技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などについて理解している。

○技能

- ・ゴール型では、安定したボール操作と空間を作りだすなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をすることができる。
- ・ネット型では、役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができる。

○思考・判断・表現

- ・攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。

○主体的に学習に取り組む態度

- ・球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようということ、作戦などについての話し合いに貢献しようということ、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようということ、互いに助け合い教え合おうとすることなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。

体育理論

○知識

- ・文化としてのスポーツの意義について理解している。

○思考・判断・表現

- ・文化としてのスポーツの意義について、自己の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えている。

○主体的に学習に取り組む態度

- ・文化としてのスポーツの意義についての学習に自主的に取り組もうとしている。

保健

○知識・技能

- ・健康と環境、健康な生活と疾病の予防について、個人生活を中心として科学的に理解しているとともに、基本的な技能を身に付けている。

○思考・判断・表現

- ・健康と環境、健康な生活と疾病の予防について、個人生活における健康に関する課題を発見し、その解決を目指して科学的に思考し判断しているとともに、それらを他者に伝えている。

○主体的に学習に取り組む態度

- ・健康と環境、健康な生活と疾病の予防について、自他の健康の保持増進や回復についての学習に自主的に取り組もうとしている。

令和7年度 小岩第三中学校 技術科 観点別評価の方法

1 目標

- ① 生活や社会で利用されている材料、加工。生物育成、エネルギー変換及び情報の技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付け、技術と生活や社会、環境との関わりについて理解を深める。
- ② 生活や社会の中から技術に関わる問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、製作図等に表現し、試作等を通じて具体化し、実践を評価・改善するなど課題を解決する力を養う。
- ③ よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

2 評価の観点

〔知識・技能〕

生活や社会で利用されている技術について理解しているとともに、それらに係る技能を身に付け、技術と生活や社会、環境との関わりについて理解している。

〔思考・判断・表現〕

生活や社会の中から技術に関わる問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。

〔主体的に学習に取り組む態度〕

よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、技術を工夫し創造しようとしている。

3 評価方法の一覧表（学期ごとに○が付いている方法から選択し評価します。）

項 目	授業での取り組み					定期考査等		
	聞く姿勢	ワークシート	プリント	用具等の取扱い	作品製作の過程	作品	定期考査	実技テスト 課題・宿題等 作業日誌
知識 技能		○			○	○	○	○
思考 判断 表現					○	○	○	○
主体的に学習に 取り組む態度	○	○	○	○	○	○		○

【観点別評価】 (知) …知識・技能 (思) …思考・判断・表現
(態) …主体的に学習に取り組む態度

月	学習項目	学習内容	評価の観点
4	デジタル作品の構想 (双方向性のある コンテンツ)	- 問題を解決するためのコンテンツに必要な情報を収集し、解決策を具体化する。 - 構想の具体化 - 情報処理の手順の整理 - 必要な機能の整理 - word の取り扱い方	- 使用するメディアを複合する方法とその効果的な利用方法を構想する力を身に付けている。(思) ★自分なりの新しい考え方や捉え方によって、知的財産を創造するとともに、他者のアイディアを尊重し、それらを保護・活用しようとしている。(態)
5	デジタル作品の制作 (双方向性のある コンテンツ)	- 安全で適切なデジタル作品の制作と動作の確認を行う。 - 使用する人のことを考えてデジタル作品を制作する。 - Excel の取り扱い方 - Power Point の取り扱い方	- 安全で適切なデジタル作品の制作、動作の確認と技能を身に付けている。(知) - 情報処理の手順を具体化する力を身に付けている。(思) ★他者と協働して、粘り強く取り組もうとしている。(態)
6			
7	問題解決の評価、 改善・修正	デジタル作品の制作による問題解決を振り返り、解決結果及び解決過程を評価し、改善・修正する方法について考える。	- デジタル作品の制作の過程や問題解決の結果を評価し、改善及び修正する力を身に付けている。(思) ★自らの問題解決を振り返り、よりよいものとなるように改善・修正しようとしている。(態)
9	計測・制御システム とは何だろう	- 身の回りにある計測・制御システムを調べる。 - 計測・制御システムにおけるプログラムの役割を調べる。 - 計測・制御システムの基本的な構成と情報の流れを調べる。	- 計測・制御システムの基本的な構成を理解している。(知) - 計測・制御システムにおけるプログラムの役割を理解している。(知) ★主体的に情報の技術について考えようとしている。(態)
	問題を発見し、課題を設定しよう	- 計測・制御のプログラミングによって解決できる問題を見つける。 - 発見した問題を解決するための課題を設定する。	「技術の見方・考え方」を働かせて、問題を発見し、自分なりの課題を設定する力を身に付けている。(思)
	計測・制御システムを構想しよう	問題を解決するための計測・制御システムに必要な情報を収集し、解決策を具体化する。	- 入出力されるデータの流れを基に、計測・制御システムを構想する力を身に付けている。(思) ★自分なりの新しい考え方や捉え方によって、知的財産を創造するとともに、他者のアイディアを尊重し、それらを保護・活用しようとしている。(態)

月	学習項目	学習内容	評価の観点
10 11	計測・制御システムの プログラムを制作しよう	- 安全で適切なプログラムの制作と動作の確認、デバッグを行う。 - エネルギー変換の技術による問題解決の学習を生かして、自動化・システム化が実現するプログラムを制作する。	- 安全で適切なプログラムの制作と動作の確認、デバッグができる技能を身に付けている。(知) - 情報処理の手順を具体化する力を身に付けている。(思) ★他者と協働して、粘り強く取り組もうとしている。(態)
12	問題解決の評価, 改善・修正	計測・制御のプログラミングによる問題解決を振り返り、解決結果及び解決過程を評価し、改善・修正する方法について考える。	- 計測・制御システムの制作の過程や問題解決の結果を評価し、改善及び修正する方法について考えている。(思) ★自らの問題解決を振り返り、よりよいものとなるように改善・修正しようとしている。(態)
3	情報の技術の 最適化	- 自分の問題解決における最適化の場面を振り返り、社会の問題解決における最適化と比較する。 - 社会からの要求 - 安全性 - 環境への負荷 - 経済性 - 情報の技術のプラス面、マイナス面について考え、これからどのように技術の最適化を図っていくとよいかをまとめる。	- 情報の技術の概念について理解している。(知) - 情報の技術の最適化について考えている。(思)
	これからの情報の技術	持続可能な社会の構築のために、これからの情報の技術について考える。	- よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、情報の技術を評価し、適切な選択、管理・運用、改良、応用について考えている。(思) ★よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、情報の技術を工夫し創造しようとしている。(態)
	学んだことを社会に生かす	3学年間の技術の学習内容を振り返り、これから技術とどのように関わっていきたいかを考えてまとめる。 - 地球環境や将来の世代のための技術について考え、10年後、50年後の未来を予測する。	よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、材料と加工、生物育成、エネルギー変換、情報の技術を工夫し創造しようとしている。(態)

評価計画

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を育成することを目指す。

評価の観点

観点	評価の観点の趣旨
知識・技能	家族・家庭の基本的な機能について理解を深め、生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。
思考・判断・表現	これからの生活を展望し、家族・家庭や地域における生活の中から問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。
主体的に学習に取り組む態度	家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。

評価から評定への総括方法

(学期ごとに○がついている方法から選択し評価します。)

	授業での取り組み					定期考査等	
	聞く姿勢	ノート・ワーク プリント	用具等の取り扱い	作品製作の過程	作品	定期考査	課題・宿題等 レポート
知識・技能			○	○	○	○	○
思考・判断・表現		○	○	○	○	○	○
主体的に学習に取り組む態度	○	○	○	○	○		

3 学年 年間指導計画および評価規準 (計 17.5 時間)

学期	月	単元名	時数	指導内容	評価規準
1	4	A 家族・家庭生活 (1) 自分の成長と家族・家庭生活	1	・家庭分野のガイダンス	2 年生の学習を振り返り、中学校 3 年間の見通しをもって学習に取り組もうとしている。＜主＞
	5	(2) 幼児の生活と家族 今までの自分とこれまで	2	幼児の心身の発達と生活を考えよう	幼児の身体の発育について、発達の方向性や順序性ととも、個人差があることを理解している。＜知・技＞
		幼児の心身の発達と生活を考えよう	2		基本的な生活習慣や社会的な生活習慣の獲得の意義を説明できる。＜知・技・思・判・表＞
	6	幼児の喜ぶ作品作り <u>生活の課題と実践</u>	3	・幼児のおもちゃ製作	幼児にとっての遊びの意義を理解している。＜知＞ 幼児の遊び道具の製作などを通して、幼児に関心を持っている。＜関心＞ 幼児の発達段階を押さえた遊び道具、遊び方について考え工夫している。＜思・判・表・主＞ 基本的手縫いの技能を活用して、安全で能率よく製作できる。＜知・技・思・判・表・主＞
2	7		3		
	9	幼児の心身の発達と生活を考えよう	3	幼児の心身の発達と生活を考えよう	
	10	家族を支える社会	3	家族を支える社会について考えよう	自分の成長を振り返り、家族を始め多くの人に支えられ、影響を受けたことに気付いている＜主＞
	11				
3	12				
	1	幼児のためのおやつ作り	3	幼児のおやつ作り	調理に必要な手順や時間を考えて作業や工夫ができる。＜思・判・表＞
	2				
	3	3 年間の振り返り	0.5	3 年間の学習を振り返り、自分の将来の生活を家庭科の見地にたって、展望する。	教科書と学習ファイルをみながら 3 年間の学習を振り返る＜主＞